

# 市民記者が行く！ 広報サポーターレポート



## 片道電車のちよこつとウォーキング にしがま線に乗って残すための努力



広報サポーター  
鈴木一夫さん(西幡豆町)

幡豆地区には人気のウォーキングイベントが二つあります。ひとつは鳥羽の火祭りや友引市など、地域の行事に併せて行われる「はず夢ウォーク」、もうひとつは、名鉄蒲郡線の駅を利用し、四季折々の情景を楽しむ「片道電車のちよこつとウォーキング」です。私は、1月5日に行われたちよこつとウォーキング取材したのでレポートします。

ちよこつとウォーキングは、出発点を名鉄の「三河鳥羽」「西幡豆」「東幡豆」3つものの国の四つの駅のどれかに定め、必ず電車を利用することが参加資格になっているユニークなウォーキングで、毎月第1日曜日に行われています。主催は、「東幡豆名鉄電車存続のための利用促進



▲吉良吉田行きの電車から続々と参加者が降りてきました

の会」という長い名前の会ですが、幡豆地区では「ちよこつとウォーキングの会」で通っています。会長の市川稔さん(東幡豆町)によると、会の発足は平成19年で、今年で7年目になりすっかり地域に定着したウォーキング行事となったそうです。この日の集合場所は、西幡豆駅。ここから山に向かって約3kmの小野ヶ谷にあるミカン畑まで歩き、ミカン狩りをする、というコースです。

午前8時の出発に合わせて、電車からにぎやかに参加者が降りてきました。駅前でも市川会長のあいさつと説明のあと、元気に出発です。小野ヶ谷川を50分ほどさかのぼり、途中にあるお



▲西幡豆駅に集合した参加者。いよいよ出発です

寺「龍蔵院」で、用意された温かいお茶をいただきながら一旦休憩。役員の大嶽さんからミカン狩りの注意を聞いたあと、ミカン畑まで少し歩き、鈴なりのミカンを楽しむ収穫しました。この日の参加者は48人。ほぼ毎回参加している方が約半数で、ご夫婦で参加された方も7組ありました。最高齢の方は76歳の女性でした。今回初めて参加された女性は、「たいへん楽しいウォーキングなので、これからはできるだけ参加したい」とのことでした。

午前9時15分、現地解散となり、ここからさらに三ヶ根トンネルを通って山道を歩いたり、こどもの国まで足を伸ばしたり



▲ときには険しい道のりも、美しい景色や楽しい会話、そしておいしいミカンで苦になりません

するグループ、西幡豆駅に帰る人などに分かれました。市川会長からは、「幡豆地区外からの参加も歓迎します」とのことでした。今後のコース予定などは、幡豆地区の情報発信サイト「やろまいネット幡豆」のホームページで見ることができます。今、にしがま線(名鉄西尾・蒲郡線)は、利用者が少ないことを理由に廃線の声があります。乗る人がいなければ鉄道もなくなりません。たとえ1区間でもにしがま線を利用し、乗って残したいものです。

広報サポーターは公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で市内各地のイベントなどを取材していただきます。